(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3222995号
(U3222995)
(45)発行日　令和1年9月12日(2019.9.12)　(24)登録日　令和1年8月21日(2019.8.21)

(51)Int.Cl.　　F I
A45D 44/12 (2006.01)　A45D 44/12 A
A45D 19/00 (2006.01)　A45D 19/00 A

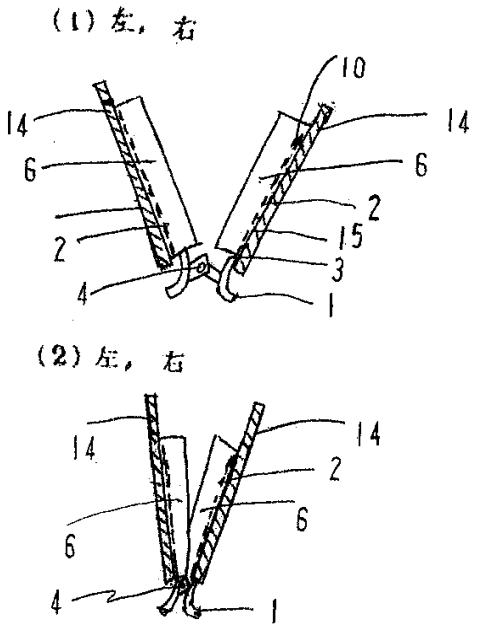
評価書の請求 未請求　請求項の数 3　書面　(全 6 頁)

(21)出願番号　実願2019-1785(U2019-1785)
(22)出願日　平成31年4月24日(2019.4.24)

(73)実用新案権者　518328818
平賀　輝
兵庫県神戸市灘区五毛通２丁目３番２０号
(73)実用新案権者　517262966
宮本　多幸
大阪府東大阪市小若江３－４－１　近畿大学　経営学部　准教授（宮本教室）
(73)実用新案権者　509311713
山田　直之
大阪府松原市天美東６丁目４の１２
(72)考案者　平賀　輝
兵庫県神戸市灘区五毛通２丁目３番２０号

(54)【考案の名称】素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具

(57)【要約】　（修正有）
【課題】ピアスを付けたままで髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う時に手、櫛やタオルがピアスに当たり、耳に痛みを伴うことを防止できるデザイン状の板つき、痛み防止器具を提供する。
【解決方法】ヘアークリップを変形させた形でツメ２を直線、又は緩やかな曲線にして、ツメの内側には肌に優しい柔らかいシリコン、ウレタン、メラミン、合成樹脂製などの材質で、長方形やいろいろな形、大きさの厚めの耳の当て材６を用意して、当て材をツメに接着や面ファスナーで接合する。又は、穴や隙間を開けた他の材質の素材を付けてツメを入れる。又は、当て材の木口面の上辺より下辺へ二分の一から三分の一のところへ穴や隙間を開けてツメを入れる。交換可能であり、更に、ツメの一番外側にいろいろなデザイン状の板状の素材１４を接着、接合する。
【選択図】図２



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
デザイン状の板つき、ピアスの引っかかりによる痛み防止器具であって、物や毛髪を挟んで止めるヘアークリップ状の形を有し、当該ヘアークリップ状の形の内、物を挟んで止める１～９個のツメの部分を直線、又は緩やかな曲線で構成されるようにして、当該ツメの内側には長方形やいろいろな形にした厚めで肌に優しい材質の素材の当て材が接合されるように構成し、前記当て材は、その長さ方向や横方向の上面、又は下面に、前記ツメが入る穴や隙間を有する他の材質の素材が付けられている、又は前記当て材は、その長さ方向の木口面の上辺より下辺に向かって二分の一から三分の一の厚みの位置に、前記ツメの形と長さを有する穴や隙間を備えるようにすることによって、前記ツメに前記当て材が接合されるように構成されており、さらに、前記当て材は、防水性を有するとともに、大、中、小の大きさの形や香水の入った当て材を用意しておき、その中から交換可能になるように構成することによって、ゴミがついた時は手洗いができて、傷んだ時やピアスの大きさなどにも対応できるようにしたことやツメや、ツメの両サイドの一番外側の素材に若者や女性の人々が楽しくなるいろいろな素敵なデザインにした板状の素材を接合しておくことを特徴とする、素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具。
【請求項２】
請求項１に記載のデザイン状の板つき、ピアスの引っかかり痛み防止器具であって、前記当て材は、接着、又は面ファスナーにより接合されることや、ツメの両サイドの外側に若者や女性の人々が楽しくなるいろいろな素敵なデザインにした板状の素材を接合しておくことを特徴とする、素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具。
【請求項３】
請求項１に記載のデザイン状の板つき、ピアスの引っかかり痛み防止器具であって、前記当て材は、長方形やいろいろな形であり、その上面、又は下面に半円状の引っかけヒモ、又は引っかけゴムヒモを縦や横方向に並列に、数段、数個を付けておくことやツメや、ツメの両サイドの一番外側にある引っかけヒモ、及び引っかけゴムヒモに若者や女性の人々が楽しくなるいろいろな素敵なデザインにした板状の素材を接合しておくことを特徴とする、素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
ピアスをつけた後、髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う時に、耳につけたピアスが引っかかって痛みを伴うので、その痛みを軽減することや、なくすることに関することである。
【背景技術】
【０００２】
耳を防御する器具は存在する。
【先行技術】
【０００３】
次のように存在する。
１、髪を染める時に耳にかぶせるゴム輪付きのビニール袋、かぶせ袋、ただし、薄いので当るとピアスにふれる。
２、耳バンド式耳カバーで耳全体を覆う、被る。寒冷地で使用する耳バンド式カバー。
３、ヘッドホン式耳カバーで耳の全体を覆う。後ろの首にかける、頭にかける、顎にかけるなどいろいろとかける方法がある。
４、眼帯式、マスク式の耳カバーであり、ゴムヒモでクビ、顎、耳下や鼻などへかけて、マスク型の容器を耳にかける。
【考案の概要】
【０００４】
ヘアークリップ状の形で物をつかむ二個のツメの内側に、肌に優しい材質の素材でつくった、長方形やいろいろな形にした厚めの当て材を接合しておく。その接合方法は当て材

をツメの内側に接着や面ファスナーで接合しておく方法、又は、当て材の片方の面にツメを入れる穴や隙間を開けた他の材質の素材を付けておく方法や数個の半円状の引っかけヒモやゴムヒモを長さ方向に並列、数段、数個、を付けておく方法や当て材の長さ方向の木口面の上辺より下辺へ二分の一から三分の一のところへツメを入れる穴や隙間を開けておく方法により、ツメを差し込んで使用する。当て材が傷んだりした時は交換したり、大、中、小の大きさにしたり、香水入りの当て材にも交換できるようにして、更に、ツメ及びツメの両サイドの一番外側の素材にはいろいろな素敵なデザイン状にした板状の素材を貼りつけ、接合しておいて、本考案を耳につける時に楽しめることができるようにして、髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う時に耳につけたピアスの引っかかりの痛みを防止することを特徴とする、素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具。

【考案が解決しようとする課題】

【０００５】

ピアスを付けて髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う時に手、櫛やタオルが耳に付けたピアスに当たって痛いので、ピアスへの引っかかりをなくして、痛みをなくする方法があれば、日々快適な生活を送ることができる。

【考案を解決するための手段】

【０００６】

ヘアークリップとは物や毛髪などを挟んで止める小型の器具のことである。本考案はそのヘアークリップを変形さした形で、二個の交互に交差する大きく膨らみを持たせて曲げた１～９個の骨組のツメを変形さして直線、又は穏やかな曲線にして、１～９個のツメと短い二個の取手とそれを支える蝶番型の支点とその間にあるキックバネとで構成する。ツメを開けた時は開口部が１５０～１７０度になり、クリップを挟むツメの内側には肌に優しい材質の素材でシリコン、ウレタン、メラミン、合成樹脂製などでつくった、長方形やいろいろな形にした厚めの当て材を接合させておく。ツメとの接合方法は▲１▼、長方形やいろいろな形の厚めの当て材をツメの内側に接着や面ファスナーなどで接合する。▲２▼、長方形やいろいろな形の当て材の長さ方向の木口面の上面に１～９個のツメを入れる穴、隙間を開けておいた他の素材を付けておく。▲３▼、厚みのある長方形やいろいろな形の当て材の長さ方向の木口面より上辺から下辺に向かって二分の一から三分の一の厚みのところにツメを入れる穴、隙間を開けておく。▲４▼、長方形やいろいろな形の当て材の上面、又は下面に半円状の引っかけヒモ、又は引っかけゴムヒモを長さ方向に並列に、数段、数個付けておく。従って、▲１▼を除いて、当て材は手洗いなどのために取り替えが可能であり、肌に優しい材質で防水性であり、大きさも大、中、小として、香水の入った当て材にも交換できるようにする。更に、ツメやツメの両サイドの一番外側にある素材に素敵なデザイン状にした、うすい板状の素材を貼りつけ、接合しておくことにより、楽しく使用することができるとともにピアスを付けた耳の痛みを和らげることができることを特徴とする、素敵なデザイン状の板つき、ピアスによる痛み防止器具。

【考案の効果】

【０００７】

髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う時にピアスを付けた耳たぶや耳に本考案をかぶせてカバーしたら、痛みのない快適な生活の日々を送ることができる。更に、耳に当てる当て材を手洗いできて、いろいろな種類に交換できるので、男女を問わずピアスを付けている人々には便利となる。

【図面の簡単な説明】

【０００８】

【図１】正面図　（１）表　（２）裏

【図２】側面図　（１）開けた図　左、右　（２）閉じた図　左、右

【図３】上からの図　閉じた時

【図４】下からの図　閉じた時

【図５】耳たぶに付けた図

【図６】耳全体に付けた図

【図７】クリップのツメと当て材を接合した図　（１）当て材をツメの内側に接着した図　（２）当て材の上部につけたツメの穴、隙間の素材にツメを入れた図　（３）当て材の長さ方向の木口にあけたツメの形の穴、隙間にツメを入れた図　（４）当て材の上面、又は下面に数個の半円状の引っかけヒモ、又は引っかけゴムヒモを付けて、それにツメを入れた図

【符号の説明】

【０００９】

１、変形ヘアークリップの取手
２、変形ヘアークリップの物をつかむツメ
３、変形ヘアークリップのツメと取手をつなぐ個所
４、変形ヘアークリップの支点
５、変形ヘアークリップのバネ
６、肌にやさしい耳の当て材
７、ツメを差し込む穴、隙間
８、耳たぶ
９、耳介
１０、ツメと当て材を接着、接合する部分
１１、鼻
１２、ピアス
１３、半円状の引っかけヒモ、またはゴムヒモ
１４、素敵なザインにした板状の素材
１５、素敵なデザインにした板状の素材の接着、接合部分

【考案を実施するための形態】

【００１０】

次の順序で実施する。

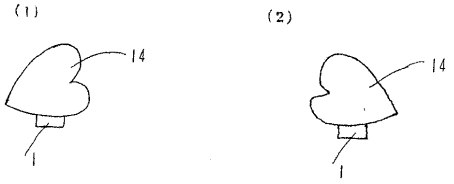
１、物をつかんで止める二個のツメを開けて、いろいろな当て材を選んでツメに差し込み、入れる。一方、当て材が交換式でない場合は二個のツメに接着、接合した当て材を付けたままでツメを開ける。
２、本考案を開けてピアスを付けた耳にかぶせてつける。
３、髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う。
４、終わったら、本考案を耳から解く。
５、本考案、及び当て材を洗って、乾燥させて保管する。

【産業上の利用可能性】

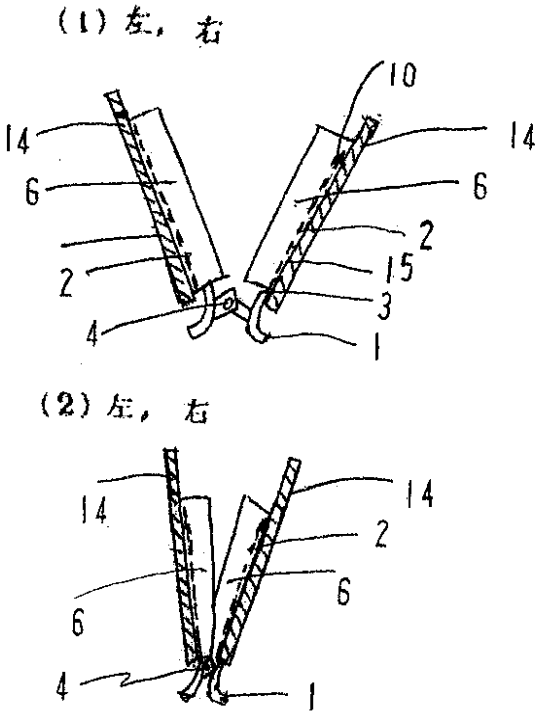
【００１１】

若い人を問わず今、耳につけるピアスは大変に人気である。しかし、はずしたり、付けたりするのは大変に面倒であるので、そのままにして髪を拭く、梳く、結ぶ、洗う。特に、ピアスを最初につけるために開けるピアス（ファーストピアス）は、耳にあけた穴が安定するまで取ることはできない。その時には手、櫛やタオルがピアスに当たって痛みを伴うので、本考案を使用して、ピアスを付けた耳をカバーすれば痛みを軽減して、ストレスのない毎日を送ることができる。

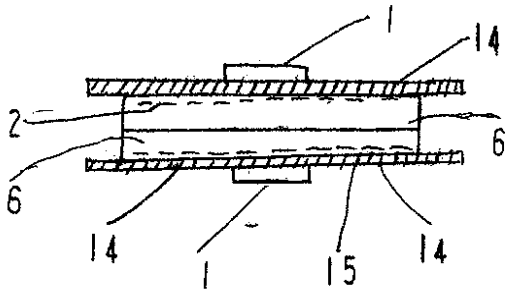
【図１】


(1)
14
1
(2)
14
1

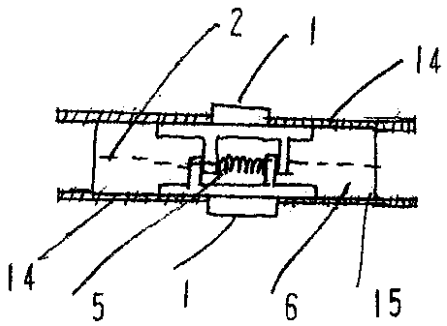
【図２】


(1) 左，右
10
14
14
6
6
2
2
15
3
4
1
(2) 左，右
14
14
2
6
6
4
1

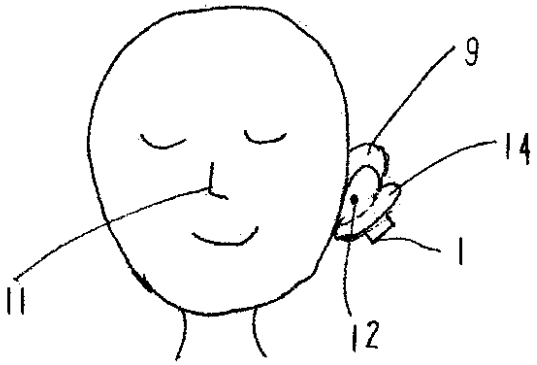
【図３】


1
14
2
6
6
14
1
15
14

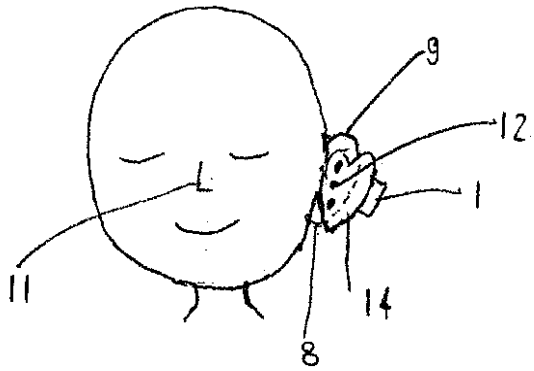
【図４】


2
1
14
14
5
1
6
15

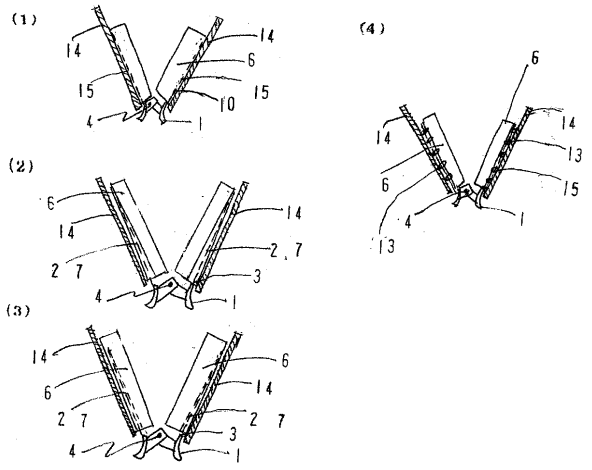
【図５】


9
14
1
11
12

【図６】


9
12
1
11
14
8

【図７】


(1)
14
14
6
15
15
10
4
1
(2)
6
14
14
2、7
2 7
3
4
1
(3)
14
6
6
14
2 7
2 7
3
4
1
(4)
6
14
14
13
6
15
4
1
13